

# No.2506改

## 春霞でも富士山は見えるでしょうか

### 百蔵山～扇山

実施日 2011年4月16日(土) 晴れ  
 リーダー 涌井 良明  
 参加者 佐藤金治、涌井良明、鈴木恵美子、  
 遠井謙策、渋谷京子、伊藤久雄、  
 石原勝正、宇野輝代 計8名  
 費用 JR2,300円(利得-パス)、バス230円  
 タイム 猿橋駅(9:00ハス)百蔵山登山口(9:12)和田美術館先登山道(9:38)尾根上(10:05~10:11)稜線鞍部(10:27)百蔵山(10:50~11:02)818mピーク(12:03~12:35昼食)大久保山手前1100m点(13:15~13:25)大久保山(13:28~13:30)扇山(13:45~14:00)水場(14:33~14:40)梨の木平(15:00~15:10)鳥沢駅(15:58)

データ 行動時間 6時間 46分  
 積算距離 12.7 km  
 移動時間 4時間 26分  
 移動平均速度 2.9 km/時  
 総上昇量 1,052 m

多発する余震の影響を考慮して、行先を変更した。心配された天候も好転し、春霞の富士も望みながらの芽吹きの山歩きが出来た。



猿橋発のバスは絶好のシーズンにも拘わらず貸切である、10分余りで百蔵山登山口BSへ、ボンヤリ富士が春を感じさせる。

晴れは嬉しいけど気温が高いのはねえ…既に25度位ありそうだ。

舗装の登山道を行き、左右共に百蔵山を示す導標は左を取り、しばらくで和田美術館脇の登山道入り口で、先程の右からの道と合流する。

日陰でいくらかほっとしながら樹林帯の道を沿いに登る、足元のスミレが春



の里山と教えている。

山腹の道になり一登りすると尾根上に出て春富士と桜が迎えてくれた、更に主稜線に向けて登るが途中唯一咲いていたミツバツツジのピンクが印象的だった。大同山から続く主稜線のコルに着き、右に百蔵山



に向かう。芽吹きは始まったばかりで見通しは良いが、枝のうるささで眺めを楽しめるほどではない、更に一汗かかされて百蔵山に到着、先にも早くいで、食の写真を撮ってから、先に進む。

すぐに下りになるが、折角の高度を失うのは先に待つ登山道が思いやられる。下りが終わるとしばらく平坦の道が現れ、小さなピークを越していく、宮谷方面への道を2本見送った先のピーク(810m)で昼食にした。



食後は最大の登山道の大久保山へ向かうことになる、冬眠メタボにはつらい登山道だが、じっとガマンして体を持ち上げる。木札に大久保山に着いたことを知らされ、ヤレヤレといった感じだ。

ここからは急登もなくなり、下山路の分岐を過ぎ緩い登山道の先に広い扇山の山頂に出る。大月市の秀麗富嶽十景の銘板の先に見えるのは春霞に覆われたたまだらな山肌がかすかに望めるだけであった。



集合写真の後、下山にかかる。下山路の分岐迄戻り、梨ノ木平への下り道に入る、九十九折れの歩きやすい道を下り、30分程の水場で顔の汗をぬぐって、梨ノ木平へ、ここからは舗装路を辿り鳥沢駅へ出て、本日の充実した？歩きは終了となった。

急な行先変更にも拘らず、参加されたメンバー諸氏に感謝します。

(記・涌井 良明)

(写真提供・涌井良明/石原勝正)